PAE19 PAE11 (cal.B872･B873･E068･E168)

# 取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ(http://citizen.jp/)でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

**機種番号の見かた**　＜刻印の位置の例＞

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む４ケタと６ケタ以上からなる番号が刻印されています。
この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の４ケタが機種番号になります。
図では「△△△△」が機種番号です。

時計によって表示位置は異なります。

## 安全上のご注意（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。 |
| ⚠ 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

| | |
|---|---|
| ⚠ | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
| ⃠ | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |

## 仕　様

| | |
|---|---|
| 機種： | B872･B873･E068･E168 |
| 型式： | アナログクオーツウオッチ 3針モデル |
| 時間精度： | 平均月差±15秒 常温（＋5℃～＋35℃）携帯時 |
| 水晶振動子： | 32,768Hz |
| IC： | C/MOS－LSI（1個） |
| 動作温度： | －10℃～＋60℃ |
| 表示機能： | 時刻：時、分、秒 カレンダー：日 |
| 付加機能： | ・充電警告機能<br>・クイックスタート機能<br>・時刻合わせ告知機能(B87*のみ)<br>・過充電防止機能 |
| 持続時間： | 約６カ月（充電完了後、時計が停止するまで）<br>充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約３～４日 |
| 使用電池： | 二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個 |

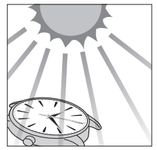
※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

# ご使用になる前に

## 充電について

この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。
時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、こまめに充電してください。
図のように文字板が光に当たるように置いて充電すると、比較的効率よく充電する事ができます。
時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

・月に一度は長時間直射日光に当てて、５～６時間充電してください。
・光の当たらない場所での長期保管は避けてください。



・衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
・高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。

## 保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

## 特殊な構造のりゅうずについて

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずの場合があります。

■ねじロックりゅうずの使い方
時計を操作するときは、ロックを解除してください。

| | ロックを解除する | 再びロックする |
|---|---|---|
| ねじロックりゅうず | りゅうずが飛び出すまで、左に回す | りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める |

# 商品の特長

この時計は、300m（30気圧に相当する水圧）にも耐えうるように設計されたダイバーズウオッチです。

● 誤作動を防止する逆転防止機構付回転ベゼルを採用
・潜水時間のチェックに重要な回転ベゼルは、逆転防止機構を採用し、不用意に回転することを防止してあります。

● ねじロックりゅうずの採用
・りゅうずは、ねじロックにより確実に固定されます。

## エコ・ドライブ

太陽などの光を電気エネルギーに変えて、時計を動かす機能です。時計が停止してから充電が完了すると、約６カ月間、時刻を刻み続けます。

# 各部の名称

<りゅうず位置9時方向のモデルの例>



＊お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

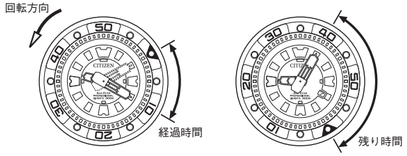
# 回転ベゼルの使い方

潜水時の経過時間、または決められた時間に対しての残り時間の目安に利用できます。

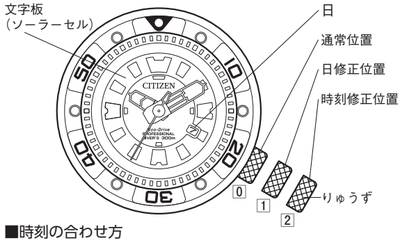
【回転ベゼルのセット方法】
回転ベゼルは、左方向に回転してください。危険防止のため逆回転（右回転）はできません。

経過時間の測定
・回転ベゼルの▼マークを分針に合わせてください。ある時間経過後、回転ベゼルの目盛りによって経過時間がわかります。

残り時間の測定
・回転ベゼルの▼マークを目標時刻に合わせておくと、残り時間がわかります。




# 時刻・カレンダー合わせ




■時刻の合わせ方
(1) りゅうずを２段引き位置にします。
（りゅうずを引くと秒針が停止します。）
(2) りゅうずを回して時刻を合わせます。
日が切り替わるところが午前０時ですので、午前と午後に注意してください。
(3) 時報等に合わせてりゅうずを通常位置にもどします。
（りゅうずを押し込むと秒針が動き始めます。）

■日の合わせ方
(1) りゅうずを１段引き位置にします。
(2) りゅうずを左に回して日を合わせます。
・りゅうずを右に回すと空回りします。
(3) りゅうずをきちんと通常位置にもどします。
・日は午前０時頃に切り替わります。
・時刻が午後９時～午前１時頃の間にあるときは、日の修正をしないでください。翌日になっても日が正しく切り替わらないことがあります。
・日は 31 日周期です。３月、５月、７月、10 月、12 月の月初めには日を修正してください。

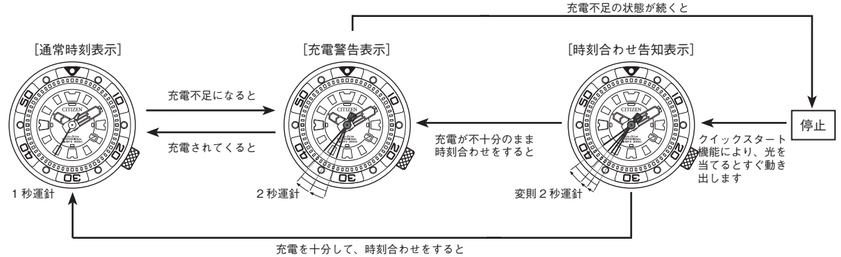
# 環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

| 環　境 | 明るさ (lx、ルクス) | 充電時間（約） | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 通常に動く状態を1日保つ | 時計が停止してから通常に動き出すまで | 時計が停止してから充電完了まで |
| 屋外（晴天） | 100,000 | 2～3分 | 18～36分 | 9～12時間 |
| 屋外（曇天） | 10,000 | 10～12分 | 2～3時間 | 33～45時間 |
| 30W蛍光灯の20cm下 | 3,000 | 30～40分 | 7～8時間 | 105～150時間 |
| 屋内照明 | 500 | 3～4時間 | 44～60時間 | ---- |

# エコ・ドライブ特有の機能について

この時計は充電不足になると、表示が次のように切り替わります。



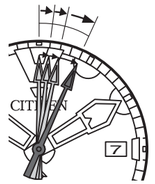

■ 充電警告機能
秒針が2秒運針して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、２秒運針を始めてから約３～４日経過すると時計は停止してしまいます。
光を当てて充電し、もとの１秒運針にもどしてください。

■ クイックスタート機能
充電がまったくされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。
ただし、このときに光をさえぎると充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますので注意してください。

2秒運針

■ 時刻合わせ告知機能(B87*のみ)
クイックスタート機能が働くと、時計の針は動き出しますが、時刻がずれているため、秒針が変則２秒運針して時刻がずれていることを知らせます。
このような場合は、十分に充電して時刻を合わせ直してください。
時刻合わせ操作をしないと変則２秒運針が続きます。

■ 過充電防止機能
二次電池が充電完了されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電ができます。



変則２秒運針

# エコ・ドライブお取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》
■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

### ⚠ 注意　充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。
例）
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電

※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》
・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除(有料)をお奨めします。

### ⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

### ⚠ 警告　指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に鍋電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

# お取り扱いにあたって

### ⚠ 注意　ダイビングへの使用にあたって

・ダイバーズウオッチのご使用に当たっては、必ず各種のダイビングに関する教育やトレーニングを受け、それにしたがってルールを守ってご使用ください。
・時計の取り扱いと注意事項を十分に理解して、正しくご使用ください。万一この取扱説明書にない取り扱いをした場合には、時計が正しく機能しない場合がありますのでご注意ください。

### ⃠ 禁止　ダイビングでの使用禁止事項

次のようなときは、ダイビングにこの時計を使用しないでください。
・充電警告機能が作動しているとき。
充電不足になると秒針が２秒間隔で動きます。（光に当てて充電し１秒 運針にもどしてください）
・時計が止まったり異常が生じたとき。

### ⚠ 警告　防水性能について

・300m（30 気圧に相当する水圧）にも耐えうるように設計されたダイバーズウオッチです。ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用できます。
・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1bar は約１気圧に相当します）

| 表　示 | 仕　様 | 使用例 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文字板または裏ぶた | | 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など) | 水仕事や一般水泳に使用。 | スキンダイビング、マリンスポーツに使用。 | 空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。 | ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。 | 水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。 |
| PROFESSIONAL DIVER'S 300m | 300m 防水 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

### ⚠ 注意　人への危害を防ぐために

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・バンドの中留の構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

### ⚠ 注意　使用上の注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずを操作しないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
○海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
○水道水を蛇口から直接時計にかけない。
○入浴するときは時計をはずす。
・時計内部に海水がたった場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

### ⚠ 注意　携帯時の注意

《バンドについて》
・皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
・皮革バンドの時計は防水時計であっても 水を使うときは時計 を外すことをおすすめします。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。　色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
○腐食により、バンドに異常が認められたとき
○バンドのピンが飛び出しているとき
・お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

《温度について》
・極端な高温／低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《磁気について》
・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

### ⚠ 注意　ダイビングにおける注意

【ダイビングの前には】
・りゅうずがきちんと押し込まれ、りゅうずがしっかりねじロックされているか確認してください。
・バンドが時計本体にしっかり固定されているか確認してください。
・バンドやガラスにヒビ、傷、カケなどの異常がないか確認してください。
・回転ベゼルが正常に回転するか確認してください。
・時刻が正しくセットされているか確認してください。
・秒針が正しく動いているか確認してください。

【ダイビング中は】
・水中でのりゅうず操作は絶対しないでください。防水不良などの故障の原因になります。
・ダイビングの器材や岩など固いものにぶつけたりしないように注意してください。

【ダイビング後には】
・時計に付着した海水や泥、砂などは、りゅうずがねじロックされていることを確認の上、真水で良く洗い落とし、次に乾いた布などで水分を拭き取ってください。

《ショックについて》
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《静電気について》
・クオーツ時計に使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《化学薬品・ガス・水銀について》
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・排水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

《保護シールについて》
・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

### ⚠ 注意　時計は常に清潔に

・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、はこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・ケースやバンドに直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
・汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、ハケなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

### 時計のお手入れ方法

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

### 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。
・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

# 保証とアフターサービス

＜保証について＞
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞
弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞
弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞
・**防水性能について**
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために２～３年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。
・**分解掃除（内装修理）について**
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として５年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜この時計の修理について＞
この時計のすべての修理は「メーカー修理」となります。修理・点検の際は、お買い上げ店、または弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。